

岡山市

「退院したい！」
「退院できる！」
を目指して。。。

退院意欲が低い患者との協働

岡山市では・・・

こころの健康センター職員が、精神科病院入院中の患者（被保護精神障害者、市長同意入院者）に会いに行き、院内面接し、退院に対する意向や希望を訊いたり、病状を確認し、退院に向けて支援しています。また、病院あるいは病棟スタッフをはじめ地域支援者の人材育成の取り組みを進めています。

1 岡山市の基礎情報

岡山市



取組内容

こころの健康センターの取り組み

【精神障害者地域システム整備事業の推進】

①地域移行・地域定着推進事業

- ・退院支援対象者の把握
- ・退院意欲の喚起
- ・地域移行・地域定着支援
- ・地域交流会
- ・病院・地域支援機関の人材育成

②地域精神保健危機介入・継続支援体制整備事業

- ・危機介入支援
- ・地域生活支援

H28年5月時点

基本情報

圏域数	1カ所
人口	720,468人
精神科病院の数	8病院
精神科病床数	2,796床
入院精神障害者数	3か月未満： 568人 (25.8%)
	3か月以上1年未満： 399人 (18.1%)
	1年以上：1,234人 (56.1%)
退院率	入院後3か月時点：72.3%
	入院後1年時点：22.7%
相談支援事業所数	一般相談事業所数：20ヶ所
	特定相談事業所数：38ヶ所
障害福祉サービスの利用状況	地域移行支援サービス：3人 (H27年度)
	地域定着支援サービス：71人 (H27年度)
保健所	1カ所 (6保健センター)
自立支援協議会	(人材育成について議論)：専門部会 なし (活動頻度)： 1回/年
	(精神障害者の地域移行について議論) ：専門部会 なし (活動頻度)： 1回/年
精神保健福祉審議会	1回/年

2 岡山市の精神障害者の地域移行推進のための取組概要

事業概要

市内精神科病院に入院中の患者に面接を行い、病状的に退院が可能であるが福祉サービスによる支援では退院が困難な者に対し退院を目指して支援する。また、退院後は本人の意志が尊重され、充実した地域生活が継続できるように関係機関と連携して支援を行う。

面接の入り口としては福祉事務所が行う生活保護受給精神障害者への面接及び、保健所が行う市長同意入院者への面接に、こころの健康センターの職員が同行して、入院中の患者への面接を開始する。また、病院からの支援依頼があれば本人との面接を行い退院支援を開始する。

事業内容

1 精神科病院入院患者への退院支援

①退院支援対象者の把握

- 1) 被保護精神障害者面接
- 2) 市長同意入院精神障害者面接
- 3) 病院からの依頼による面接

②退院意欲の喚起

- 1) 退院意欲に乏しい入院患者への院内面接
- 2) ピアサポーターとの交流や外出支援、院内グループ活動支援による地域生活のイメージ化

③地域移行支援

- 1) ある程度退院意欲が高まった入院患者への院内面接
- 2) 外出・外泊支援、施設見学による更なる地域生活のイメージ化と自信を高める支援
- 3) 地域における日常生活の準備や生活スキルの向上のための支援
- 4) 在宅サービスの調整や手続き等への同行支援
- 5) 家族調整

2 退院後の地域生活支援

①地域定着支援

- 1) 地域における生活支援及び通院支援
- 2) 在宅サービスの調整や手続き等への同行支援

②危機介入

- 1) 治療中断時の危機介入支援

3 病院スタッフの意識改革

①院内話し合い(定例会議、事例検討)

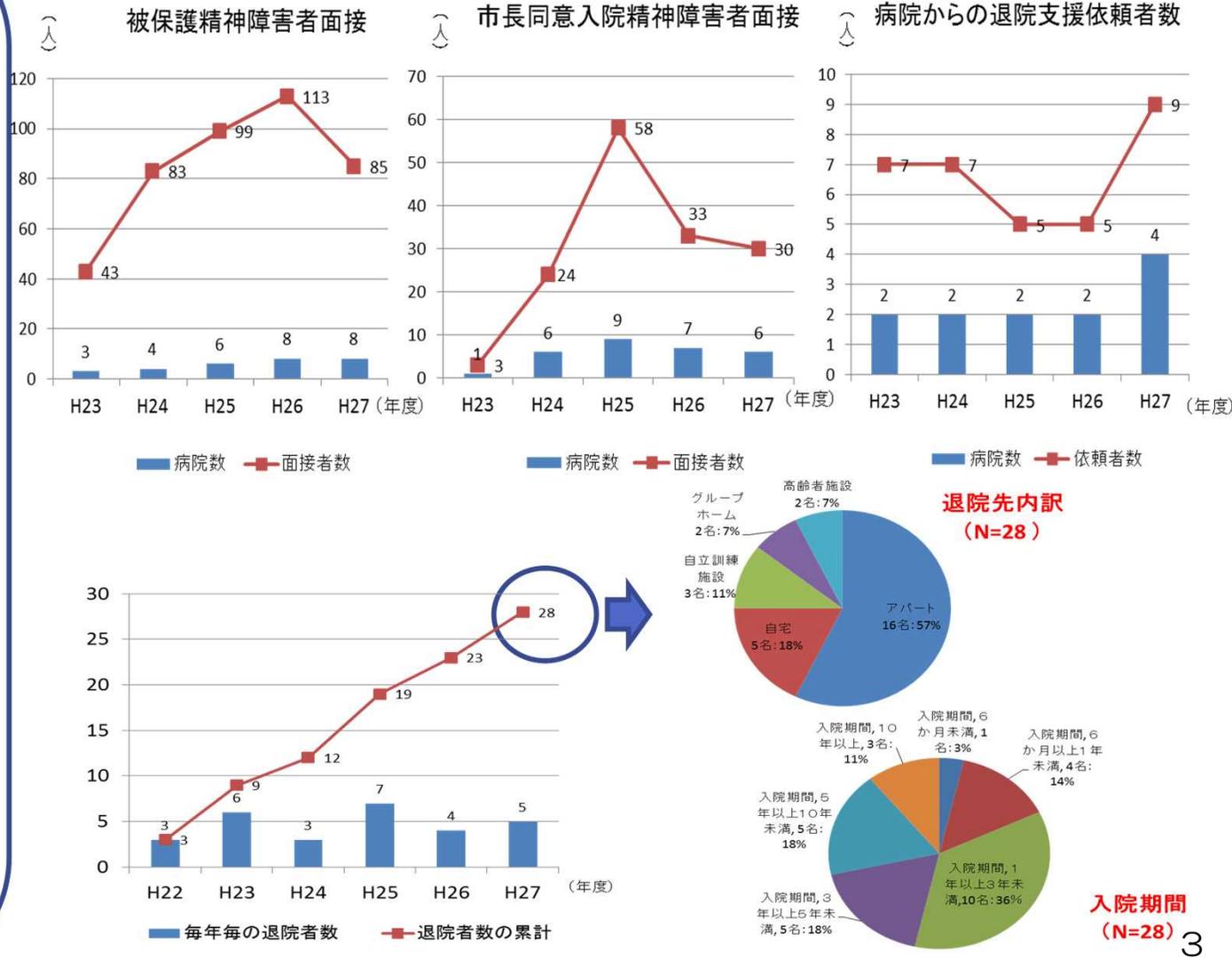
②病院スタッフ向け研修

4 地域の受け皿の体制整備

①機関連携

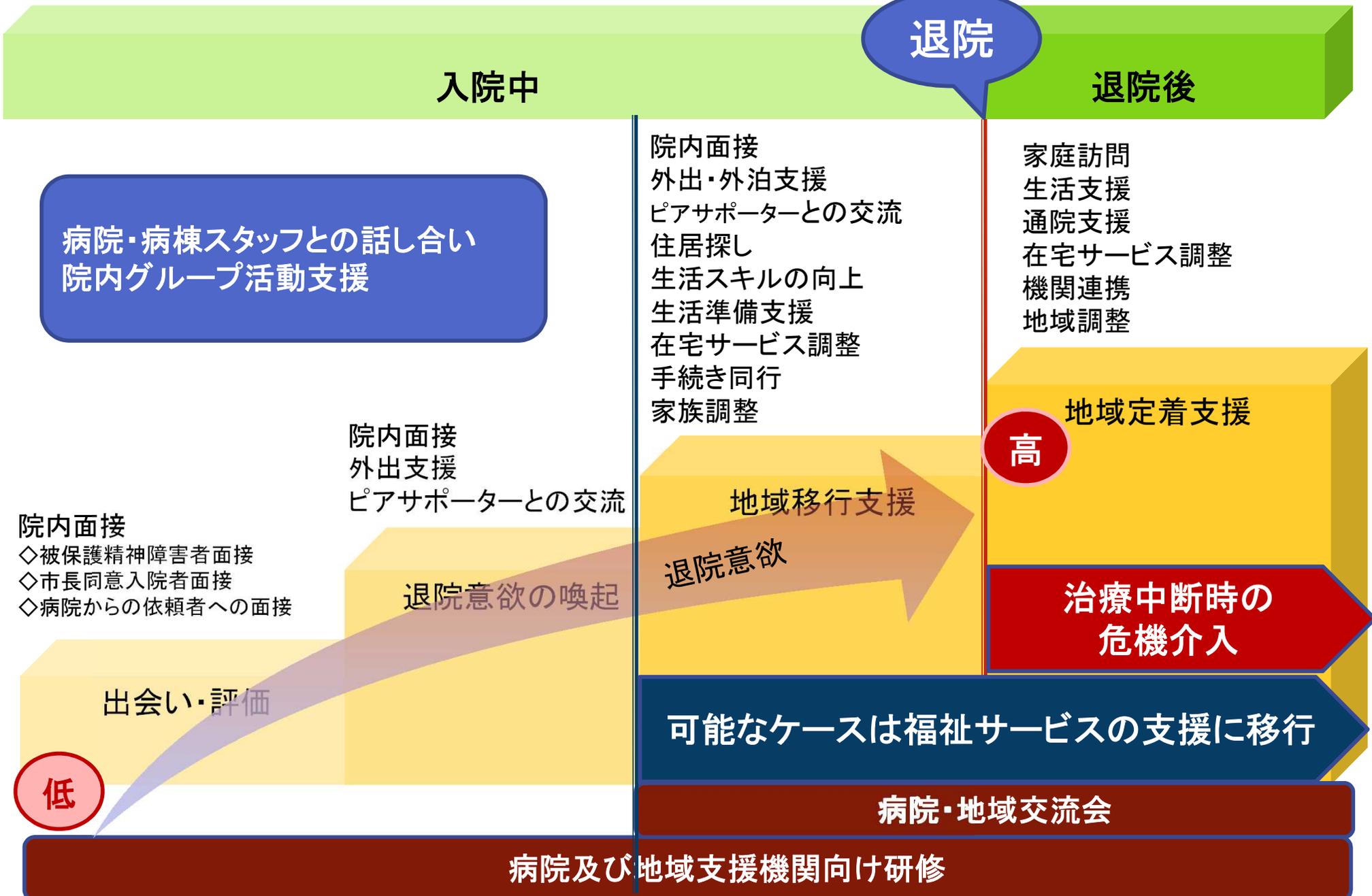
②地域支援機関の人材育成

事業実績



2 岡山市の精神障害者の地域移行推進のための取組概要

退院支援の諸段階と支援メニュー



3 岡山市の精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

- 岡山市は保健所が中心となり平成18年度から岡山県と協力して地域移行 支援事業を実施していた。

- 事業の対象者となる人は病院から支援依頼があった入院患者が中心で

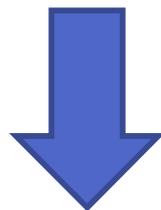
「受け入れ条件が整えば退院可能な入院患者」

具体的には・・・

◎「本人に退院の意思がある人」

◎「病院が退院可能と考える人」

が支援対象となりがち



- 平成21年4月当センターの設置により、市独自での事業のすすめ方について見直し検討を行った。

3 岡山市の精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

検討時見えてきた課題

- 病院から支援対象者がなかなか挙がってこない。
- 本人自身も退院意欲低い。
- 相談支援事業所に対する地域のニーズが多様化してり、役割の明確化や人材育成を進めていく必要がある。
- 患者の退院について病院内部でも支援に関する意識の温度差がある。また、病院と地域にも支援の温度差がある。

支援対象者の見直し

(見直し前)

- 本人に退院の意思がある人
- 病院が退院可能と考える人



福祉サービスの利用で退院が可能な人



(見直し後)

- 退院する意欲を持ってない入院患者
- 環境要因などにより病院が難しいと考えている入院患者



福祉サービスの利用では退院が難しい人

4 岡山市の精神障害者の地域移行推進における強みと課題

特徴（強み）＝福祉サービスの利用では退院が難しい人への支援が可能

<取組み内容>

- 病棟全体への働きかけ → 病棟グループ活動への支援
- 個別の患者への働きかけ → 被保護精神障害者・市長同意入院者への面接、退院意欲向上支援を含む退院支援・地域定着支援
- 支援者の人材育成 → 病院スタッフや、保健センター、包括支援センターなどの地域関係者を対象とした退院支援研修会の実施

課題

- 病棟によっては、事業がまだまだ周知されておらず、活用が進んでいない。
- 被保護精神障害者・市長同意入院者の面接により、それらの患者の実態はほぼ把握できているが、それ以外の患者の実態は把握できていない。
- 支援者の置かれている立場や職種によって、退院支援に関する情報が現場スタッフまで行き届いていない現状もあり、病棟スタッフ向けの研修や地域支援関係者向けの研修を更に進めていく必要がある。

5 岡山市の精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

今年度の目標

- ・長期入院患者の実態に関する調査の内容についての検討
- ・本人、病院、地域関係者とのアセスメントの共有方法の検討
- ・体制整備に向けた人材育成

次期(月)	実施内容	担当
通年	事業対象者への個別支援	こころの健康センター
5月～3月	長期入院患者の実態に関する調査の内容について検討	〃
9月～12月	精神障害者地域支援システム整備事業研修会 (病院・地域支援者向け研修 全11回)	〃
7・10・1月	精神障害者地域交流事業(計3回)	〃
7月～2月	自立支援協議会による精神保健に関する研修会の実施	岡山市保健所
2月	岡山市精神障害者地域支援対策審議会の開催	こころの健康センター 保健管理課